

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	YY	学部・学科	国際教養学部
学 年	4 年	派遣国	オーストリア
派遣大学	ウィーン大学		
期 間	2024 年 8 月 23 日～ 2025 年 7 月 4 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (88,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(地下鉄) で、約 (30) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	4.5 万円	
学用品購入費	5,000 円	
交通費	5,000 円	
交際費	2 万円	
その他	1 万円	

合計

8 万 5000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安は良好。夜間は警察が頻繁にパトロールを行っていた印象。
プラーター周辺は危ないと聞いた。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(114,380) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (ウィーン) オーストリアの首都ウィーンは、人口約 200 万人を擁する同国最大の都市であり、政治・経済・文化の中心地である。同時に、欧州における学術・芸術の拠点としても知られている。歴史的にはハプスブルク帝国の都として栄え、音楽や美術をはじめとする多様な文化遺産を今日に受け継いでいる。また、多国籍企業や国際機関が集積する国際都市でもあり、国連ウィーン事務局や OPEC 本部などが置かれていることから「国際会議都市」としての地位も確立している。さらに、欧州内外から多くの留学生を受け入れており、多文化的な環境での学びと交流が可能である。こうした特徴から、ウィーンは学術研究と国際的視野の涵養において極めて魅力的な都市であるといえる。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ウィーン大学	所在地	Universitätsring 1, 1010 Wien, Austria
最寄空港	ウィーン国際空港	空港からの距離	20km 電車で約 1 時間弱
空港⇄大学	S バーン (S7) 空港 → Wien Mitte → U3 Volkstheater → U2 Schottentor → ウィーン大学		
学生数	約 89,000 人	留学生数	約 25,000 人
学部	Faculty of Catholic Theology カトリック神学部 Faculty of Protestant Theology プロテスタント神学部 Faculty of Law 法学部 Faculty of Business, Economics and Statistics 経済・経営・統計学部 Faculty of Computer Science コンピューター科学部 Faculty of Historical and Cultural Studies 歴史・文化研究学部 Faculty of Philological and Cultural Studies 言語・文化学部 Faculty of Philosophy and Education 哲学・教育学部 Faculty of Psychology 心理学部 Faculty of Social Sciences 社会科学部 Faculty of Mathematics 数学部 Faculty of Physics 物理学部 Faculty of Chemistry 化学部 Faculty of Earth Sciences, Geography and Astronomy 地球科学・地理・天文学 Faculty of Life Sciences 生命科学部		
	*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Faculty of Philological and Cultural Studies 言語・文化学部 English and American Studies		
	*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (10)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	図書館で自習 講義	自習	講義 図書館で自習	図書館で自習	大学で自習
午後	講義 友人と会う	語学学校	飲み会	講義 アルバイト	ゼミ 友人宅で映画鑑賞

② (3)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		講義	授業 図書館で自習	カフェで自習	図書館で自習
午後	授業	カフェで自習	飲み会	アルバイト	講義

3. 履修内容

科目	UE Integrated Language and Study Skills 1		
履修期間	2024 冬学期	単位数	5ECTS
授業内容／形態	英語のアカデミックなリーディングとライティングの技術を身につける。学期中に 3 回あるエッセイ試験と、学期末のリーディングテスト、グループプレゼンが課される		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	KO Critical Media Analysis		
履修期間	2024 年冬学期	単位数	6ECTS
授業内容／形態	メディアが人々の考えやコミュニケーションにどのように影響を与えるか学ぶゼミ形式の授業。毎週のリーディング課題とディスカッションの他に、必須のグループプレゼンと期末エッセイが課される。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	UE Integrated Language and Study Skills 2		
履修期間	2025 夏学期	単位数	5ECTS
授業内容／形態	冬学期に履修した ILSS1 の継続授業。英語のアカデミックなリーディングとライティングの技術を身につける。学期中に 3 回あるエッセイ試験と、学期末のリーディングテスト、グループプレゼンが課される		
成績			
YCU 振替予定	科目		

	単位数	
	担当教員	

科目	VO International communication		
履修期間	2025 夏学期	単位数	3ECTS
授業内容／形態	Public relations や国際協力について学ぶ講義。 学期末のテストで評価される。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	VO Development Economics		
履修期間	2025 夏学期	単位数	3ECTS
授業内容／形態	開発経済学の講義。 学期末のテストで評価される。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	B4 Guided Reading: Classics of Sociological Texts		
履修期間	2025 夏学期	単位数	4ECTS
授業内容／形態	社会学のゼミ。 学期中の2回のエッセイとディスカッションで評価される。		
成績			
YCU 振替予定	科目		

	単位数	
	担当教員	

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

学業、友人関係など多くのことを学んだ1年間だった。留学の初めは、元々の人見知りの性格もあって心配していたが、交流の場で出会った他の留学生や現地学生が温かく迎え入れてくれたため友達作りには困らなかった。共に食事をしたり旅行に出かけたりすることで、文化や価値観の違いを超えて深い関係を築くことができた。彼らとの会話を通して自分の視野が広がり、異なるバックグラウンドを持つ人と協働することの面白さを実感した。

一方で学業面では、語学力そのものよりも、人見知りな性格のためになかなか授業で積極的に発言することができず、悔しい思いをたくさんした。ヨーロッパ圏の学生は非常に高い英語力を持っており、自分の英語力と比較して落ち込むこともあった。しかし、そのような時には教授に個人的に面談をお願いして理解を深めたり、勇気を出して近くの学生に質問したりすることで、少しずつ自信を取り戻すことができた。

また、異文化の中で生活することで、自分の日本人としてのアイデンティティについて考える機会も増えた。仲のいい友人から日本文化について質問を受けたり、行事や習慣を紹介したりする中で、これまで当たり前だと思っていた自国の文化を改めて見つめ直すことができた。異なるルームメイトと過ごした1年間は、文化の違いから衝突することもあったが、必要な時は話し合いをして改善に努めた。

この1年間を通じて、語学力の向上はもちろん、人間関係を築く力や異文化に適應する力を養うことができた。自分の弱さに直面し、それを克服する過程で得られた経験は、今後の人生において大きな糧になると確信している。留学は単なる学業経験ではなく、自分自身を深く見つめ直し成長させてくれる貴重な時間であった。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

大学を卒業した後、大学院に進んで研究を続けるのか、それとも就職するのか、今の段階ではまだはっきりと決めていない。ただ、ウィーンでの経験を通して得た国際的な視野や、異なる文化や考え方を受け入れる柔軟さは、どんな進路を選んでも必ず強みになると思っている。留学中に取り組んだ研究はそのまま卒業論文につながる内容であり、これからも勉強と研究を重ねながら、自分の関心をより深めていきたい。授業や課題に取り組む中で培った計画性や粘り強さ、仲間と協力して学ぶ姿勢は、将来どのような道に進んでも活かせるはずだ。ウィーンで過ごした日々を単なる思い出にせず、自分の成長の土台として、これからの選択や挑戦につなげていきたいと考えている。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学を迷っているなら、思い切って挑戦することをおすすめします。行けば必ず新しい視野が開けますし、自分の成長につながります。準備としては、まず講義のスピードについていけるようにリスニング力を鍛えておくことが大切です。また、完璧な英語を話そうとしなくても大丈夫なので、間違いを恐れずに堂々と発言できる自信を少しずつ身につけてほしいと思います。留学中は、目標を持って 1 日 1 日を大切に過ごすことが何より重要です。悩み込んでしまいそうなときは、部屋にこもらず外に出て散歩してみるのがおすすめです。たまには日本人の友人と会ったり日本食を食べたりしてリフレッシュすることも必要です。勉強はもちろん大切ですが、無理をしすぎて体調を崩さないように気をつけてください。万が一体調を崩したときにも 1 人で対応できるように準備をしておけば安心です。想定外の出来事にも慌てず、前向きに取り組めば必ず実りある留学になるはずです。